

博士後期課程の手引き 〈栄養学専攻〉

令和4年度（2022年度）

西九州大学大学院 生活支援科学研究科
栄養学専攻 博士後期課程

目 次

- 令和4年度（2022年度）学年歴及び年間行事予定
- 第Ⅰ部 栄養学専攻 博士後期課程について
 - 1. 専攻設置の趣旨・目的 P.1
 - 2. 教育理念・目的 P.1
 - 3. 学位の名称 P.2
- 第Ⅱ部 修了要件及び博士論文について
 - 1. 修了要件 P.3
 - 2. 博士論文 P.5
 - 3. 修了までのスケジュール P.8
- 様式集

令和4年度(2022年度)学年暦及び年間行事予定

前 期	
4月 7日 (木)	令和4年度入学式（入学式後、オリエンテーション）
4月 8日 (金)	前期授業開始日
4月 15日 (金)	「研究指導教員希望届」提出締切日
5月 10日 (火)	開学記念日
5月 31日 (火)	「研究題目届」提出締切日
7月 28日 (木)	前期授業最終日
8月 5日 (金)	夏季休業（夏季休業期間中に前期集中講義を予定）
9月 25日 (日)	
9月 15日 (木)	前期修了者 修了証書・学位記授与式
後 期	
9月 26日 (月)	後期授業開始日
10月 21日 (金)	学園祭 ※10月21日（金）は全学休講
10月 23日 (日)	
12月 23日 (金)	冬季休業前授業終了日
12月 28日 (水)	冬季休業
1月 4日 (水)	
1月 5日 (木)	後期授業再開日
1月 10日 (火)	月曜振替授業日（第13回）
1月 25日 (水)	後期授業最終日
2月末日迄	博士後期課程中間発表会《1年次》 ※栄養学専攻
3月 17日 (金)	令和4年度修了証書・学位記授与式

第Ⅰ部 栄養学専攻 博士後期課程について

1. 専攻設置の趣旨・目的

本課程の基礎となる栄養学専攻修士課程において身につけるべき、摂食前の段階の食品の特性（食品科学）、食品を摂食した人体の生体応答（健康科学）、および現場における栄養学の実践（実践栄養学）を探求する基礎的研究能力を基盤としながら、さらなる高等研究教育において、複雑化・高度化する現代の栄養学的課題に現場にて取り組み、これを解決する課題解決能力およびその成果を国際誌に発表する情報発信能力を備えた研究者、とくに管理栄養士が働く現場におけるリーダーとして職場の課題解決を担う高度で専門的な能力を有する人材の育成を目的とする。

2. 教育理念・目標

栄養は生命の源泉であり、健康維持における基本的要素として、生涯を通じての健康、疾病予防、疾病治療など、さまざまな状況において食事のあり方が重要となる。より複雑で高度な現代の栄養学的課題に対応するためには、自ら科学的知見（エビデンス）を集め、それを元に新たなエビデンスを創造し、その情報を発信するという一連の高度な研究能力が必要である。

本専攻においては、データに基づいたエビデンスにより構築される知識と技術を理解し、多様な発展を遂げる社会において複雑化・高度化する栄養に関する課題を解決してこれから社会を支える高度で専門的な能力を有する人材を養成することを教育の理念・目標として定める。

【教育課程編成・運営方針（カリキュラム・ポリシー）】

＜教育課程編成の方針＞

本専攻では、学位授与の方針に掲げる3つの能力を修得させるため、次のような教育課程を編成する。

1. 栄養学に関する最新の研究について領域横断的に学べるコースワーク科目「食・健康と栄養の総合特講」を配置する。
2. それぞれの専門領域に関する高度な専門的知識や技術を学べるコースワーク科目「食品科学特講」、「健康科学特講」、「実践栄養学特講」を配置する。
3. 学生自ら研究テーマや計画を立て、実験や調査を遂行し、論文にまとめるといった一連の自立的な研究活動であるリサーチワーク科目「栄養学特別研究Ⅰ」、「栄養学特別研究Ⅱ」、「栄養学特別研究Ⅲ」を配置する。

【学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）】

栄養学専攻博士後期課程では、次のような能力を身に付けた上で、必修科目 14 単位、選択科目より 2 単位、合計 16 単位を修得し、博士論文の審査および最終試験に合格した者に對し、博士（栄養学）の学位を授与する。

1. 栄養学に関する幅広い学識と総合的な判断力を持ち、自らの研究の意義や果たすべき役割を論理的に考える能力を身に付けている。
2. 栄養学のそれぞれの分野において、自立的に活躍する研究者、教育者、技術者として必要な専門的知識、技術を身に付けている。
3. 国内外や地域社会における栄養学に関する課題を自ら見出し、身に付けた知識や技術を用いて解決に導く課題解決能力を有し、その成果を国内外に発信する能力を身に付けている。

【入学者選抜方針（アドミッション・ポリシー）】

本専攻は西九州大学大学院研究科の基本方針を踏まえ、次のように定めている。

1. 栄養学の研究分野に強い関心を持ち、最先端の研究を学びたいと思っている者
2. 栄養学の各分野で活躍するリーダーとなる研究者、教育者、技術者になりたいという意志や目標を持っている者
3. 国内外や地域社会が抱える課題の解決に対する意欲と行動力を持ち、社会に貢献したいという意欲を持った者

3. 学位の名称

(1) 研究科の名称：生活支援科学研究科

英文名称：Graduate School of Human Care Sciences

(2) 課程の名称：栄養学専攻 博士後期課程

英文名称：Doctoral course of the Division of Nutrition

(3) 学位の名称：博士（栄養学）

英文名称：Doctor of Philosophy (Nutrition)

第Ⅱ部 修了要件及び博士論文について

1. 修了要件

博士後期課程の修了の要件は、当該課程に3年以上在学し、必修14単位、選択は「食品科学特講」、「健康科学特講」、「実践栄養学特講」から1科目2単位、合計16単位以上を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

- (1) 所定の期間（3年）在学すること。
- (2) 所定の単位（16単位）を修得すること。
- (3) 博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

上記の3つの要件を、全て満たす必要があります。

【参考】

「西九州大学大学院学則」第18条の3 ※一部抜粋

(博士後期課程の修了要件)

博士後期課程の修了の要件は、当該課程に3年以上在学し、第15条第2項及び第3項に定める単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、当該大学院の行う博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。

【参考】

「西九州大学大学院学則」別表 1－2

別表 1－2 栄養学専攻（博士後期課程）に係わる授業科目及び単位数（第 13 条第 2 項関係）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数		備考
				必修	選択	
専攻共通科目	総合分野	食・健康と栄養の総合特講	1	2		
専門科目	食品科学分野	食品科学特講	1		2	(履修方法) 必修科目 14 単位、選択科目より 2 単位以上、合計 16 単位以上修得すること。
	健康科学分野	健康科学特講	1		2	
	実践栄養学分野	実践栄養学特講	1		2	
研究指導科目		栄養学特別研究Ⅰ	1	4		
		栄養学特別研究Ⅱ	2	4		
		栄養学特別研究Ⅲ	3	4		
開講単位数				14	6	

2. 博士論文

(1) 博士論文の提出締切

博士論文の提出締切は、第3年次の12月中旬までとします。

(2) 博士論文の提出要件

博士論文を提出するためには、前述の期日までに、下記の要件を満たしておく必要があります。

＜博士論文審査の基準＞

1. 査読制度の整った国際的な英語学術誌に1報を主論文として筆頭著者で発表すること。
2. 査読制度の整った国内外の学術雑誌に1報以上を副論文として筆頭著者で発表すること。

上記2点を満たすこと。なお、審査の時点において掲載または受理されているものを発表として扱う。

博士論文の執筆に際しては、投稿する学術誌の執筆要領に基づいてください。

(3) 博士論文の提出方法

前述の期日までに、学位申請書（別紙第2号様式）に博士論文、論文目録（別紙第4号様式）、博士論文の要旨及び履歴書を添えて、教務課に提出してください。

【参考】

「西九州大学大学院学位規程」第5条第2項 ※一部抜粋

（学位の申請）

学位の授与を受けようとする者は、学位申請書（別紙第2号様式）に博士論文、論文目録（別紙第4号様式）、博士論文の要旨及び履歴書を添えて、研究科長に提出しなければならない。

「西九州大学大学院学位規程」第5条の2第1項及び第2項 ※一部抜粋

（修士論文及び博士論文）

修士論文及び博士論文は、1編に限る。ただし、参考資料として他の論文を添付することができる。

研究科長は、審査のため必要があるときは、修士論文及び博士論文の提出者に、当該修士論文及び博士論文の訳文その他必要な資料等の提出を求めることができる。

（4）博士論文の審査方法

博士論文となる主論文と副論文の提出を受け、主査1名と副査3名（外部の副査1名を含む）からなる審査委員会を立ち上げる。客観的で公正な評価を行うため、主査は指導教員以外の専攻科所属教員が担当する。指導教員は副査を担当する。残る2名の副査のうち1名は外部研究機関に所属する研究者に委託する。審査委員会は、主論文に関する公開審査会（発表会）を開催し、質疑応答を行う。その後、主論文の審査を行って合否を判定し、審査結果の要旨とともに研究科委員会に報告する。以上、単位の取得状況、審査委員会が作成した合否判定結果をもとに、研究科委員会にて総合的に判定を行い、博士論文として適当であると判断された場合、「博士（栄養学）」の学位が学長より授与される。

（5）研究倫理審査

ア. 研究倫理委員会について

博士論文の作成に際しては、指導教員とともに、「チェックシート」(P26～)※2に基づき、西九州大学研究倫理委員会での研究倫理審査の必要性を確認してください。

申請を必要とする場合は、必ず指導教員と一緒に「研究倫理審査申請書」(P16～)※2及び関係資料（「研究計画書」(P29)※2、「研究協力依頼書」(P30)※2等）を準備してください。

申請された研究内容によって、審査方法（通常審査・迅速審査）が異なります。

通常審査に該当する場合は、研究倫理委員会が指定した日時に、委員会へ出席（大学院生又は指導教員のどちらかの出席が必要。両名の出席でも可。）し、研究計画の説明及び委員からの質問に答えなければなりません。委員会への出席または申請書類提出後、すぐに研究を開始してよいということではありません。学長からの承認通知書（承認番号を記載。P34※2）を受領した後に研究を開始してください。

なお、委員会への出席依頼及び開催日時等は、事務局より指導教員を通じて通知します。

また、研究開始後も報告書の提出が必要となります。長期に渡る研究の場合、原則として毎年1回、「研究実施状況報告書」(P37)※2により、研究の進捗状況を学長へ報告しなければなりません。研究が終了した場合には、必ず「研究終了報告書」(P41)※2を学長に提出してください。

イ. 審査の種類、書類の提出期限、方法について (P7) ※²

	通常審査	迅速審査
委員会	3月期を除く毎月1回	3月期を除く毎月2回
審査方法	委員会での対面による審査	書類のみの審査
書類提出 締め切り	月1回。毎月15日、17時 就業規則で定められた休日の場合は、その直前の休日ではない日の同時刻とする。	月2回。毎月15日、末日17時
提出先	各キャンパス総務課窓口	
提出方法	<ul style="list-style-type: none"> 捺印済の書類一式を提出してください。 ホチキス留めではなく、クリップ留めでお願いします。 郵送、電子メールでの受付はしません。社会人大学院生等で時間内に提出できない場合は、指導教員を通じて提出してください。 	
注意	<ul style="list-style-type: none"> 委員、事務局スタッフの交代等のため年度を跨ぐ審査は行いません。 年度内最終提出締切日は2月15日です。 3月提出の申請書類は新年度一回目（5月最終週）の審査です。 	

ウ. 様式等の関連資料について

共有フォルダ（■全学教材▶西九_教材▶大学院生用▶研究倫理審査関係）に保管しています。

詳細は、別途配布いたします「西九州大学研究倫理審査申請ガイドブック」を参照してください。

※1 令和4年度より様式等を変更していますので、必ず最新の様式を使用してください。

※2 本ページ説明文中のページ数は、「西九州大学研究倫理審査申請ガイドブック」のページ数を示します。

3. 修了までのスケジュール

・第1年次：研究テーマの設定・研究の開始

4月	履修登録「栄養学特別研究Ⅰ」「食・健康と栄養の総合特講」
	「研究指導教員希望届」を博士研究指導会議に提出（指導教員決定）
	副指導教員決定（1名を専攻内において選出）
5月	「研究題目届」の提出
9月-10月	履修登録「栄養学特別研究Ⅰ」「選択専門科目」
2月	中間発表会の実施（栄養学専攻 博士研究指導会議メンバーの前で発表）

・第2年次：研究の本格的な推進

3月-4月	履修登録「栄養学特別研究Ⅱ」
9月-10月	履修登録「栄養学特別研究Ⅱ」
2月	中間発表会の実施（栄養学専攻 博士研究指導会議メンバーの前で発表）

・第3年次：学術誌への論文投稿・博士論文の提出

3月-4月	履修登録「栄養学特別研究Ⅲ」
9月-10月	履修登録「栄養学特別研究Ⅲ」
12月中旬	「博士論文」の提出 <各4部を教務課へ提出> ※提出物：博士論文（主論文・副論文）、学位申請書、論文目録 博士論文の要旨、履歴書 <u>「様式集」を参照のこと</u> <u>※この時点で、審査基準（提出要件）を満たす必要あり。</u> 「博士論文審査委員会」の設置 ※主査1名と副査3名（外部の副査1名を含む）
1月中旬 -2月中旬	論文審査 1. 主論文の審査（口頭試問） ※博士論文審査委員会が実施 2. 主論文に関する公開審査会（発表会）の開催
2月中旬	修了判定（大学院教務委員会、研究会委員会、学部長会議）
3月	大学院修了・学位授与 博士論文の製本、リポジトリ登録

＜博士論文審査の基準＞（提出要件）

1. 査読制度の整った国際的な英語学術誌に1報を主論文として筆頭著者で発表すること。
2. 査読制度の整った国内外の学術雑誌に1報以上を副論文として筆頭著者で発表すること。

上記2点を満たすこと。なお、審査の時点において掲載または受理されているものを発表として扱う。

研究指導教員希望届

令和 年 月 日

生活支援科学研究科
栄養学専攻 博士後期課程

学籍番号 :

氏名 :

私は、下記の先生の指導を希望しますのでお届けいたします。

記

1. 研究指導教員

(注意)

1. 提出先: 教務課

研究題目届

令和 年 月 日

生活支援科学研究科 栄養学専攻 博士後期課程

学籍番号 :

氏 名 :

私は、下記の先生の指導によって、次の研究題目で博士論文の作成をするのでお届けします。

記

1. 研究指導教員 (認印)

2. 研究題目

(注意)

1. 提出先：教務課

研究題目変更届

令和 年 月 日

生活支援科学研究科
栄養学専攻 博士後期課程

学籍番号：

氏名：

私は、下記の先生の指導によって、次の題目に研究題目を変更するのでお届けします。

記

1. 研究指導教員 _____ (認印)

2. 研究題目 _____

3. 変更前の研究題目 _____

(注意)

1. 提出先：教務課

別紙第2号様式（第5条第2項関係）

博士の学位申請の様式

学位申請書

年 月 日

西九州大学大学院生活支援科学研究科長 殿

西九州大学大学院生活支援科学研究科
栄養学専攻

氏名 印

このたび、博士（栄養学）の学位の授与を受けたく、西九州大学大学院学位規程第5条第2項の規定に基づき、下記の書類を提出しますので、御審査くださるよう御願いします。

（添付書類）

博士論文 4部、論文目録 4部、博士論文の要旨 4部、
参考論文 各4部、履歴書 4部、参考資料 各4部

別紙第4号様式（第5条第2項関係）

論文目録

報告番号	甲	第	号	氏名	
	乙				
博士論文					
題名					
(既に印刷公表したものについては、その方法及び年月、未公表のものについては、 公表の方法及び時期を記入すること。)					
参考論文					
題名、雑誌名、巻（号のみの雑誌は号）頁一頁、発行西暦年月					
()					
題名					
(同 上)					

備考

- 1 博士論文の題名が外国語の場合は、日本語で訳文を（ ）を付して記入すること。
- 2 報告番号は、記入しないこと。

履歴書

学籍番号			
(ふりがな) 氏名 生年月日	印 年 月 日生	性別	男・女
現住所			
(学歴) ○○年 月 ○○高校 卒業 ○○年 月 ○○大学○○学部○○学科 入学 ○○年 月 ○○大学○○学部○○学科 卒業 ○○年 月 ○○大学大学院○○研究科修士課程 ○○専攻 入学 ○○年 月 ○○大学大学院○○研究科修士課程 ○○専攻 修了 ○○年 月 ○○大学大学院○○研究科博士後期課程 ○○専攻 入学 (現在に至る)			
(職歴)			
(研究歴) 1. 学位論文に関するもの (1) 学術論文 (2) 学会報告 2. その他の学位論文に関する研究業績 (1) 著書 (2) 論文			
(賞罰)			

論文内容の要旨

学籍番号	
氏名	
論文名	(※論文名が外国語の場合は日本語訳文を、日本語の場合は英語訳文を(　)内に記入してください)

同 意 承 諾 書

私は、下記の共同研究論文を 氏の学位論文とすることを承諾します。

なお、この論文を私の学位論文に使用することはありません。

また、 氏が博士学位授与後に、博士学位論文をインターネットの利用により公表することを許諾いたします。

記

論文題目（外国語の場合は、その日本語訳を付記すること）

（論文題目） ○○○○○○○○○○○○

学会誌・雑誌名,巻・号,頁,発行年月

_____年_____月_____日

共同研究者

氏名 _____ 印 _____

氏名 _____ 印 _____

氏名 _____ 印 _____

(注)共同研究者が複数の場合の同意承諾書は1人ずつ別葉にしてもよい。